

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Ch.Jump (Jr.Jump)			
○保護者評価実施期間	2025年2月20日		～	2025年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	2025年2月20日		～	2025年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置は、基準を上回る配置をしています。	子どもの特性状況に合わせ職員数を配置しています。	自己目標を立て毎回振り返りを行っているが、目標の見直しをするなど今後も努力をしていきます。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、外部の評価が行われていません。</li> <li>・少人数のため集団活動が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でなかなか実施することが出来ませんでした。</li> <li>・定員2名のため、集団生活に慣れることを目的に児童館の利用をしているが感染症の流行時の活用が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後実施できるよう検討して参ります。</li> <li>・天候の良い日には公園へ出かけて地域の人や子どもに関われるようにしてきた。</li> </ul>
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Ch.Jump (Jr.Jump)

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 2025年 3月 31日 7名

回収数 5名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>						
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>				とても手厚く、丁寧で温かく関わって頂いていると思います。理解もあり、とても有難い。	支援利用計画に沿ったそれぞれのお子さんの児童発達支援計画を作成しています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>						
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	感染症の流行時は控えますが、児童館、地域の公園で地域の子もたちとの関りが持てるよう努めています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>					契約時に説明しています。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<input type="radio"/>					ペアレンターの養成に努めます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	<input type="radio"/>					毎週お電話でお話ができるのは、とてもありがたいですし、相談がしやすいので本当に感謝です。	定期的に時間をとり、より丁寧に状況を伝えていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>					定期的に、このような状況で伝えあえるのでとても良いご支援だと思えます。	しっかり共通理解ができるよう努めます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>						
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○				定期的に事業所だよりの配布をしています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	○					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	○				避難行動に慣れるよう、随時行っています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても楽しみにしています。Jumpのみなさんのことが大好きな我が子です。</li> <li>・スタッフの方も本当に素晴らしい、本当に温かく丁寧に子供にも関わって頂き、保護者にも細やかに対応して下さるので、とてもJumpさんの存在は大きなものです。</li> </ul>	現状に満足せず、職員一人一人が更なる向上を目指します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも丁寧な支援をありがとうございます。</li> <li>・昼食代が物価高なのでやむを得ないかと思っています。あわよくば、もう少し活動の時間が長いと良いのになと思います。</li> </ul>	物価上昇が止まらない状況ですが、ご理解が得られるよう可能な限り努力してまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Ch.Jump (Jr.Jump)				公表日	2025年 4月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		なるべく空間を広く使えるよう工夫している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		スタッフが急遽休んだ場合でも、放課後等デイサービスから応援がきて助かっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		来所した流れで身支度ができるようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		状況に応じてその都度物を動かすなど環境を整えている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		体操などは放課後等デイサービスの部屋で行うことができている。スタッフの交流もできている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		パートにも文章や口頭で情報共有があったり、支援終了後、少しではあるが話ができている。	もう少し、じっくり話せる時間がとってきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意向等があった場合、ミーティング等で速やかに検討し改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		週に一度職員会議を行って検討している。オンラインセミナーや動画研修の機会の提供を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			現在、外部の評価が行われていませんが今後実施できるよう検討して参ります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年に数回職員研修を計画している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		いつでも目を通せるように見やすいところに掲示してある。	R7.3にホームページへで公表しました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		5領域で分析して課題に取り組んでいる。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		策定(変更)会議を行って検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画を基に週間支援計画を作成している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		モニタリング時にフォーマルアセスメントを行い、その他生活スキルチェックを行っている。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		季節に応じた制作や、成長に合わせた計画、または伸ばせるような支援を実施していく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		主任を中心に行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に応じた制作や、成長に合わせた計画、または伸ばせるような支援を実施していく。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		週に一度職員会議を行って常に検討している。 ・パート職員の出勤時間を考慮して、到着後行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・時間が取れないことがあるが、可能な限り行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ケース記録に基づき、週に一度職員会議を行って毎回確認をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低6ヶ月に一度行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管と共に担当職員が同席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じ連携した会議を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じ連携した会議を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者を通じ連絡・共有をしている。 教育委員会の意向調査に協力を行い、支援学校の教諭の状況調査に協力している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		センターで共有会議を定期的に行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		可能な限り行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々、連絡を密にとり行っていると思います。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要に応じて行っている。	ペアレンターの育成に努めています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明させていただいている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		契約時にご説明させていただいている。 モニタリングの際、丁寧に意向を伺っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		契約時及び更新時にご説明させていただき、同意を得ている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じ、事業所内で行っている。 また、電話や保護者自ら利用児の送迎をされる方は、送迎時に行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			集まることへ賛否両論あるが、令和7年度は実施に向けて取り組みたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所内において対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		会報を発行している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ずダブルチェックを行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		コロナ禍以前は年に一度祭りをを行い、地域に周知・啓発を行っている。再開に向けて準備を進めています。	集まることへ賛否両論あるが、令和7年度は実施に向けて取り組みたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員研修を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画に基づく訓練を実施した。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		家庭と連携をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		家庭と連携をしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員会議を行って検討している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		職員間で共有し、改善及び防止等に取り組んでいる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		規程に基づき研修会及び委員会を開催している。また、防犯カメラを設置し、抑止につなげている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明している。また、規程に基づき研修会及び委員会を開催している。	身体拘束の同意書について、説明会を開いた後、依頼を行っています。	